

抽 選 方 法 の 説 明

今回申込みを受け付けた、東日本大震災復興事業記念1万円金貨幣プルーフ貨幣セット(第四次発行分)及び東日本大震災復興事業記念千円銀貨幣プルーフ貨幣セット(第四次発行分)については、販売数を超える多数のお申込みがありましたので、次のとおり抽選を行います。

【申込状況及び販売数】

区 分	東日本大震災復興事業記念 プルーフ貨幣セット(第四次発行分)	
	1万円金貨幣	千円銀貨幣
申込数	359,400セット	328,186セット
販売予定数	9,081セット	34,184セット
販売数	8,173セット	30,766セット
当選確率	2.3%	9.4%

※ 「販売数」は、販売予定数から、海外販売用、展示用等を控除した、抽選対象となる数量を示します。

※ 当該貨幣セットについては、発行枚数から贈呈分を除いたものが造幣局からの販売数量となります。抽選時において贈呈分が未確定のため、最終的な贈呈分の確定に伴い、今後、販売数に変更となる場合があります。

【抽選方法(1万円金貨幣プルーフ貨幣セット)】

- ① お申込みいただきました全ての申込み(はがき及びオンラインショップでの申込み)に「1」から順番に受付番号を付します。オンラインショップでの申込受付は、はがきでの申込みに付した最終の受付番号の次の番号から受付番号を付して整理しています。これらの受付番号1,000ごとを1ユニットとし、その順番をユニット番号とします。
- ② 最初に、申込みの下2桁の当選番号を決定します。「0」～「9」の番号を付けた10個のボールを、「十の桁」及び「一の桁」それぞれの箱に入れ、抽選者が、それぞれの箱の中から1個のボールを取り出す方法により行います。当選番号は、そのボールの番号を優先順位第1位とし、以下の優先順位は、その番号に順次1を加えた数とします。なお、この際、「99」の次は「00」とします。
- ③ 次に、申込みの整理順による不公平をなくすため、抜き取りを開始するユニット番号を決定します。
「0」から「3」までの番号を付けた4個のボールを「百の桁」の箱に入れ、「0」から「9」までの番号を付けた10個のボールを「十の桁」及び「一の桁」の箱に入れ、それぞれの箱からボールを1個ずつ取り出す方法により行います。
- ④ ③により決定されたユニット番号から、②で決定された当選番号の順に、受付番号の下2桁の番号が当選番号と一致する申込みを順次抜き取り、8,173番目までを当選とします。
- ⑤ 8,174番目以降の申込みは、キャンセル等が生じた場合の補欠とします。
- ⑥ 以下同様に、千円銀貨幣プルーフ貨幣セットの申込みの下1桁の優先順位第1位の当選番号と抜き取りを開始するユニット番号を決定します。

(参考) 抽出例 (東日本大震災復興事業記念1万円金貨幣ブルーフ貨幣セット (第四次発行分))

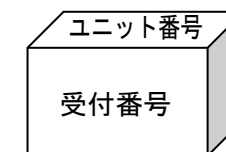
① すべての申込みに1から順に連番を振り、1,000ごとを1ユニットとします。

申込み

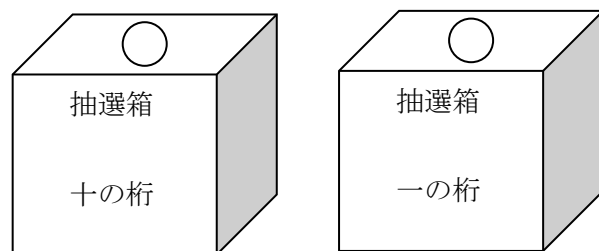
申込数 359,400
 販売数 8,173セット
 当選確率 2.3%



(凡例)
 申込みの束(ユニット)
 のイメージ図



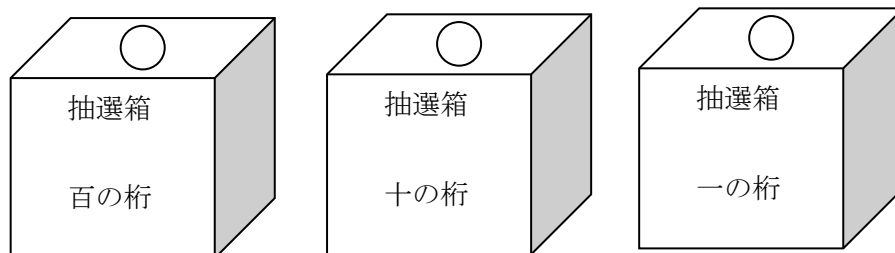
② 申込みの当選を決定するために、十の桁、一の桁の抽選箱から各1個、ボールを取り出します。



⑤ ⑥

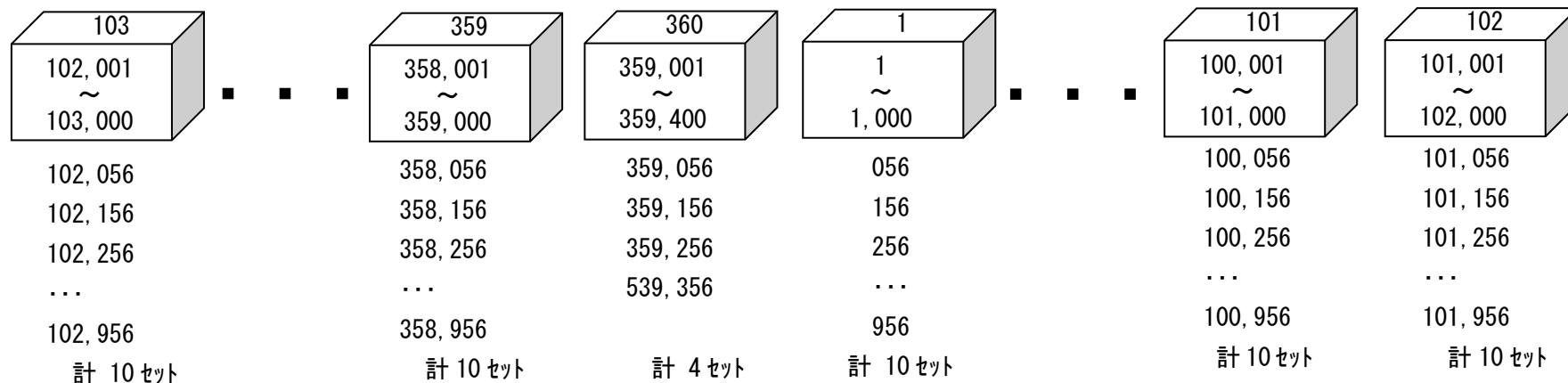
[当選番号の優先順位: 56、57、58・・・99、00、
 01、02、03・・・55]

③ また、抽出を開始するユニット番号を決定するため、百の桁、十の桁、一の桁の抽選箱から各1個ボールを取り出します。



① ⑦ ③

④ 抽選されたボールの番号により、ユニット番号103番から、順次、下2桁56番の申込みを抜き取ります。

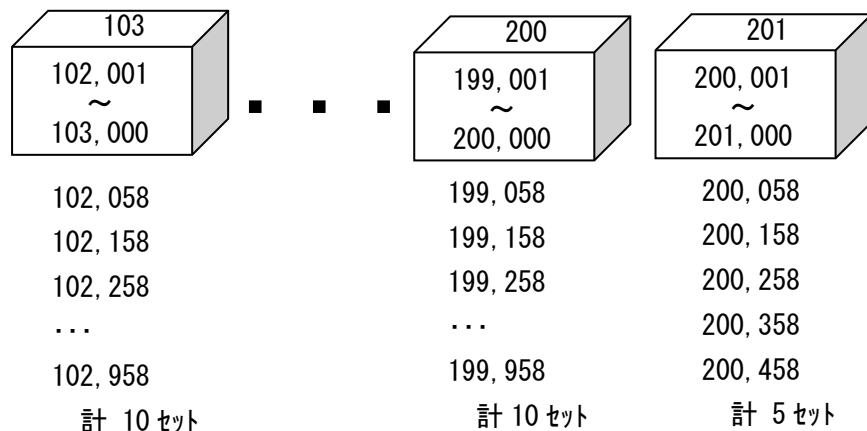


小計 3, 594 セット

⑤ 下2桁57番の申込みについても、同様に抜き取りを行います。

小計 3, 594 セット

⑥ さらにユニット番号103番から、順次、当選数が④、⑤と合計し、販売数の8, 173セットとなるまで、下2桁58番の申込みを抜き取ります。



小計 985 セット

累計 8, 173 セット

⑦ ユニット番号201番の受付番号200, 558番以降の申込みについては、キャンセル等が生じた場合の補欠となります。

※ 東日本大震災復興事業記念千円銀貨幣プルーフ貨幣セット（第四次発行分）についても同様の方法により申込みを抜き取り、当選番号を決定します。